

公表

事業所における自己評価結果

| | | | |
|------|-------------------|-----|------------|
| 事業所名 | 児童デイサービス88 Kiyosu | 公表日 | 2026年3月31日 |
|------|-------------------|-----|------------|

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|---|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | ・活動エリアが区切られている。 ・体を動かすスペースを広く確保している。 | ・支援スペースを考慮しながらイベント内容を考案していく。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | ・利用者様数にあった専門職員を配置している。 | ・職員数を確保し、柔軟に対応できるようにしていく。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | ・図や表などを活用してわかりやすく提示している。 | ・利用者様が安心して活動が出来るように柵や机の角にコーナーガードを取り付ける。 ・それぞれの利用者様に合わせた支援環境を作っていく。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | ・日々利用者の帰った後に掃除をしている。 ・定期的に柵の下まで掃除をしている。 | ・日ごろから整理整頓を心掛けていく。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | | ・クールダウンできるスペースを確保している。 | ・利用者様が安心できる環境を整えていく。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | ・毎日朝礼、終礼を行い、月に一回以上会議を職員同士で行っている。 | ・必要に応じて都度全職員で会議を実施していく。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | ・年に一回のアンケートを行っている。 ・送迎時やモニタリング時などに保護者様と話をし業務改善に努めている。 | ・定期的にアンケートを取り、保護者様から意見を頂いていく。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | ・月例会議やイベント会議など職員の意見を話し合う場を設け、業務改善に繋げている。 | ・改善点があった場合は順次対応していく。 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 6 | ・現状は第三者による外部評価を行っていない。 | ・今後、必要に応じて第三者による外部評価を行っていく。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | ・各職員に応じた研修を受講している。 | ・今後は外部研修も増やしていく。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | ・支援プログラムはHPにて公表しており、支援内容に沿って更新している。 ・毎月の活動はSNS等で公表している。 | ・今後も利用者様に合わせたプログラムを考案・作成していく。 |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | | ・毎年、アセスメントシートの更新を行い、児童発達支援計画を作成している。 | ・定期的にモニタリングを実施し、利用者様や保護者様のニーズや課題を客観的に把握し、計画を立てていく。 |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | ・利用者様に最善の利益を考慮した適切な支援を行えるよう全職員で支援会議をしている。 | ・今後も定期的に支援会議を行っていく。 |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | ・児童発達支援計画の内容を全職員で共有して計画に沿った支援を行っている。 | ・定期的に児童発達支援計画に沿った支援が行われているか確認し、必要に応じて修正していく。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | ・専用のフォーマットを使用して、日々の利用者様の様子を記録している。 | ・フォーマットのブラッシュアップを行い、今後も継続して利用者様の様子を記録していく。 |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | ・児童発達支援のガイドラインに沿って、利用者様への支援に必要な項目が適切に設定されている。 | ・「移行支援」「地域支援・地域連携」について、より具体的に設定していく。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | ・毎月イベント考案と会議を行い、活動プログラムを計画している。 | ・同様の活動が行われないように工夫していく。 |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | ・イベント担当を変えて、内容が固定化しないようにしている。 | ・今後は利用者様や保護者様の意見も取り入れ検討していく。 |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | ・利用者様の特性に合わせた児童発達支援計画を立てている。 | ・利用者様の特性に合わせた活動を取り入れていく。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---|--|---|
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | ・朝礼時に当日の活動内容を全職員で共有している。 ・活動内容を利用者様や職員にもわかるようにホワイトボードに掲示している。 | ・共有の多い活動時には、当日だけではなく事前に活動の内容等の確認を行い共有していく。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | ・終礼時に振り返りや共有事項などを話し合い、記録に残して今後に繋げている。 | ・週初めに前週の共有事項等を再度確認していく。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | ・終礼時に日々支援や活動の様子を話し合い、気付いた事や修正点、改善点があれば都度改善していく。 | ・支援や活動の内容を検討、改善する機会をもっと増やしていく。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | ・計画の内容について、保護者様に分かりやすいようにかみ砕いて説明し、適宜見直しを行っている。 | ・保護者様とのモニタリング後に職員間で共有する機会を増やし、適切な作成につなげていく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | ・開所したばかりでまだ回数こそ少ないが、会議には該当の利用者様の状況を良く理解した者が参画している。 | ・全職員が参画できるよう、会議内容や利用者様の状況を常に職員間で共有していく。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 1 | 5 | ・地域の関係機関といつでも連携が取れる体制を整えている。 | ・今後も地域の関係機関との連携を強化していく。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | 1 | ・関係のある園との情報共有をしっかりと行っている。 | ・定期的に関係のある園と連絡を取り合い情報を常に共有していく。 |
| | | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | ・保護者様や園、学校と連携を取り、支援内容等の情報共有を行っている。 | ・相互理解を深めるため、園や学校には定期的に支援内容等を伝えていく。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 6 | | ・児童発達支援センターとの連携を図り、助言等を受ける機会を設けている。 | ・今後も必要に応じて助言等を受けられるように体制を整えていく。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 5 | ・地域のイベントに参加をさせてもらっている。 | ・認定こども園、幼稚園等との交流はまだ実施できていない為、今後は交流を検討していく。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | ・送迎時などに保護者様と情報を共有し共通理解を持っている。 | ・今後も保護者様と共通理解を持てるよう情報共有をしていく。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 5 | ・ペアレントトレーニング等の研修の機会は設けられていないが、必要に応じて保護者様への支援提供を行っている。 | ・今後は保護者様も参加できる研修の機会を検討していく。 | |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | ・契約時に各種内容を適切に伝えている。 | ・今後も丁寧な説明を継続していく。 |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | ・契約時やモニタリング時に保護者様と現状の様子や思いなどをしっかりと確認している。 | ・利用者様の最善の利益を最優先に考え、必要に応じて会議で話し合っていく。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | | ・毎回、「児童発達支援計画」の内容は保護者様にしっかりと説明を行い、同意を得ている。 | ・説明する際には専門用語は使わず分かりやすい言葉で伝えていく。 |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | ・ご家族様支援や送迎時に、必要に応じて助言と支援を行っている。 | ・悩みを相談しやすい環境や関係性を構築していく。 |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 6 | ・現状、保護者様同士や兄弟同士の交流する機会を設けていない。 | ・今後は保護者様やご兄弟様同士が参加できるイベントを検討していく。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | | 6 | ・相談や申入れがあった場合には迅速かつ適切に対応している。 | ・今後も継続して対応していく。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | | 6 | ・HP,SNSを活用して活動内容等を発信している。 | ・今後もHPやSNSで利用者様の様子や行事内容を分かりやすく発信していく。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | | 6 | ・個人情報の取扱いについて、十分に留意している。 | ・今後も個人情報の漏洩を防ぐためにセキュリティを強化していく。 |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | | 6 | ・意思疎通や情報伝達のため、利用者様や保護者様に合わせた対応をしている。 | ・今後も利用者様や保護者様に合わせた対応を継続していく。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 6 | ・現状はまだ地域との交流は実施出来ていない。 | ・今後は地域との交流するイベントを検討していく。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | | 6 | ・契約時に保護者様に各種マニュアル等の説明を行い周知している。 ・職員には定期的に研修や訓練を実施している。 | ・今後も保護者様へ各種マニュアルの周知や職員への研修、訓練を継続していく。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | | 6 | ・定期的にBCP研修や訓練を実施し、必要に応じて都度更新している。 | ・研修や訓練を強化し、災害発生時に適切な対応が取れるようにしていく。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | | 6 | ・契約時にアセスメントシートを使用し保護者様から共有を受け、毎年年度初めに情報を更新し利用者様の状況を確認する流れができていく。 | ・利用者様の服薬や予防接種、てんかん発作等の情報をすぐに確認ができるように専用ファイルを作成していく。 |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | | 6 | ・利用者様のアレルギーの情報を全職員で共有し、医師の指示書に基づく対応をしている。 | ・今後も利用者様のアレルギー情報を共有し、適切な対応をしていく。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | | 6 | ・定期的に研修や訓練を行い、毎週、施設内の設備の安全チェックも行っている。 | ・今後も定期的に研修や訓練を継続していく。 |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | | 6 | ・契約時に保護者様にしっかりと周知している。 | ・今後も利用者様の安全確保のために安全計画を更新し周知していく。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | | 6 | ・日々の終礼時に共有し、ヒヤリハットが発生した場合は再発防止に向けて話し合いを行い対策している。 | ・他事業所で発生したヒヤリハット事例を会議で話し合い対策を検討していく。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | | 6 | ・定期的に研修、訓練を行い、毎月セルフチェックを実施し、虐待防止に繋げている。 | ・職員への研修の機会を増やし、虐待防止への職員の意識付けを強化していく。 |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | | 6 | ・契約時やモニタリング時に保護者様に説明し、了承を得た上で児童発達支援計画に記載している。 | ・出来るだけ身体拘束が必要な場面を無くしていく。 | |